

令和2年大船渡市教育委員会第7回定例会会議録

1. 日 時

令和2年7月28日（火） 午後2時から午後3時50分まで

2. 場 所

大船渡市役所 教育委員会会議室

3. 出席委員の氏名

教 育 長	小 松 伸 也
教育長職務代理者	柏 崎 正 明
委 員	熊 谷 テイ子
委 員	村 谷 志 保
委 員	鈴 木 晴 紀

4. 説明等のため出席した職員

教育次長兼教育総務課長	遠 藤 和 枝
学 校 教 育 課 長	佐 藤 真
生 涯 学 習 課 長	熊 谷 善 男

5. 議 事

議案第1号 令和2年大船渡市議会第3回臨時会に提案する議案（教育に関する事務について定める部分）を作成することについて

議案第2号 令和3年度使用小学校及び中学校教科用図書の採択に関し議決を求めることについて

協議第1号 第一中学校校舎等改築事業の基本設計（案）について

6. 報告事項

（教育次長）

① 学校統合推進協議会の進捗状況について

（教育総務課）

① 令和2年度大船渡市立博物館教育普及事業「おおふなと しぜん かわらばん2020」の開催について

（学校教育課）

① 第3回市内小・中学校長会議の開催結果について

② 市内小中学校の夏休み期間について

③ 市内小中学校閉庁日について

④ 令和2年度気仙地区中学校総合体育大会の結果について

（生涯学習課）

- ① 令和2年度岩手県社会教育連絡協議会 社会教育功労委員・職員表彰の受賞について
- ② 新型コロナウイルス感染症対策について

7. 会議の大要

(教育長)

- ・令和2年大船渡市教育委員会第7回定例会の開会を宣言する。
- ・令和2年第6回定例会の会議録について、質問、意見を求めた結果、教育委員の承認を得る。
- ・諸報告事項について、事務局等の説明を求める。

(教育次長兼教育総務課長)

- ・別添資料等により報告する。

(学校教育課長)

- ・別添資料等により報告する。

(生涯学習課長)

- ・別添資料等により報告する。

(教育長)

- ・追加報告を求める。
- ・追加報告がないことを確認後、報告事項についての質問、意見を求める。

(教育長職務代理人)

- ・大船渡中学校と末崎中学校の統合の時期は令和3年4月を見送ることとなった。両校の生徒、教職員、保護者に対し、その経緯をお知らせし理解を得た方がいいだろう。

(教育次長)

- ・各学校には、保護者及び教職員へ経緯を説明する必要性について話をしている。今後も折に触れ、保護者に説明するよう伝えていきたい。

(教育委員)

- ・新型コロナウイルス感染症対策スクールサポートスタッフの配置については、先生方の働き方改革の中で、細かくいろいろなことをサポートすることができ、本当に良かったと感じている。

(学校教育課長)

- ・スクールサポートスタッフという国の事業があり、コロナに関係なく教職員の多忙化解消に向けて支援していたところだが、岩手県では今回、新型コロナウイルスに関連して初めて配置することとした。教員免許を持っていないため、学校での活用は難しい部分もあるが、学校に対して様々な情報提供をしながら、いい形で進めることができればと思っている。

(教育長職務代理人)

- ・スクールサポートスタッフの配置は学校現場にとって、すごく効果的な事業だと思う。感染症対策だけでなく、教員の業務を支援し、教員が児童生徒と向き合う時間を増やしていくことが期待されることから、新型コロナウイルスの感染が収束に向かった後も、この事業は継続し学校を支援してほしい。
- ・副校長がマネジメント役を担うので、効率良く、快適にスタッフが業務を進めていくには、副校長や教職員との連携協力がすごく大切になってくるだろう。

(学校教育課長)

- ・全国的な事例をみると、やはり学校現場において業務をどう分担できるかが鍵となっている。事業のイメージを持ってもらうため、校長会議で資料を配布した。

(教育長)

- ・全部の学校に配置は決まったのか。

(学校教育課長)

- ・16校のうち14校は決定。あと1校も予定はたっているため、残り1校である。

(教育長)

- ・年齢は19歳から上は何歳か。

(学校教育課長)

- ・65歳、70歳の方からも申込みがあった。

(教育長)

- ・年齢の幅が大きく、業務の内容を決めていくことも大変かと思うが、せっかくの人材なので、うまく活用してほしい。

(教育委員)

- ・椿学習は良い取り組みだと思う。椿学習を通して地域、伝統、自慢などを学び、そして学んだことが様々な学習に活かされるのではないかと。椿ノートも子ども達に興味を持たせるような内容構成になっている。この取り組みをさらに広げていってほしい。
- ・各学校で、4月から活用しているキャリアパスポートは、キャリアチャレンジディと関連する部分も出てくるのではないかと。取り組みをどのように関連付けていくのか。
- ・学校において、どの行事も、どの活動も教育的な願いがあるだろう。多忙化解消の名のもとに、子どもにとって大切な部分などを安易に切り落とさないよう、量を減らしても、質の確保は重要であることを確認しながら取り組んでほしい。
- ・洪水浸水想定区域内の学校として、立根小学校と第一中学校が挙げられているが、日頃市小学校と綾里小学校も該当するのではないかと。最近、洪水による災害、想定外の災害が各市で発生している。たぶん昨年のことだと思うが、陸前高田市立横田小学校で洪水を想定した避難訓練を実施したとのこと。大船渡市でも洪水を想定した訓練を考えていく必要があるのではないかと。

(学校教育課長)

- ・椿ノートは学校にとって非常に使いやすい印象を受けている。あとは、学校における教育計画の中に、いかに取り入れることができるかである。そこをサポートしていきたい。
- ・今年度のキャリアチャレンジディは、新型コロナウイルスの影響により中止になるため、学校に対し情報提供できないかと代替案を模索した。企業の方にも関心を持っていただけており、うまく協力体制ができていると思う。キャリアパスポートは今年度のスタートとなり、これから学校の情報を聞きながら情報提供していきたい。
- ・今年度、新型コロナウイルスの影響によって学校の行事や、岩手県教育委員会委員会の行事・研修会がかなり削減され、学校は自校の行事を冷静に見つめる時間となったのではないかと考えている。今まで惰性的にやっていた部分も目的に照らし合わせ検討する機会ができたり、学業に集中できたり、子ども達にとって良い方法をゆっくり考え

る機会にはなかったかと思う。校長先生方にとっては、行事等をなくす方がなかなか難しいと思われる。簡略化することで十分楽しめたといった話もあるため、良い形で学校のスリム化を図れたらと考えている。

(教育長)

- ・今年度、県の方から新たなハザードマップが公表になった。第一中学校付近は 50cm の浸水が想定されており、立根小学校の方も同程度となる。日頃市小学校と綾里小学校は浸水想定区域内ではないと認識しているが、再度確認したい。
- ・洪水だけでなく土砂災害等も想定しての訓練を実施する必要があると感じている。
- ・キャリアパスポートとキャリアチャレンジディをリンクさせることは、なかなか難しいと思う。キャリアチャレンジディは各企業が集まっての職場体験である。キャリアパスポートは自分の生き方・目標値をたて、それを目指していくものである。目標値を将来的な職業にどう結び付けていくかということになれば、職業選択の一つにはなると思われる。

(教育委員)

- ・修学旅行について、6月の時点では中学校の行き先を東京方面としていた。秋に実施する予定だが、行き先等について変更はあるのか。
- ・新型コロナウイルス対策として、各学校ではどのようにプールの授業を進めているのか。

(学校教育課長)

- ・修学旅行については、小学校では概ね岩手県内とし、中学校は東北から函館で検討している。
- ・プール自体の感染リスクは低い。いかに密を避けるかということである。学校では通常の消毒作業はそのとおりであるが、例えば、ある学校ではプール用の更衣室を女子だけの利用とし、男子は校舎の空き教室を利用するなど、いかに密を避けて着替えができるかなど工夫している。

(教育委員)

- ・先月の報告で、hyper-Q Uは教材業者が各学校に配布・回収するという話があったが、その後の集計や評価は、hyper-Q Uの発行元が実施するのか。

(学校教育課長)

- ・業者に分析まで委託しており、発行元まではいかない。

(教育長)

- ・業者からは、子ども用、保護者用、学校用という形で分析結果がでてきて、1学期末に保護者に渡している。この分析結果を授業や学校生活と、どう関連をつけて指導していくかといった活用の仕方について、生徒指導研究会において研修会を実施した。

(教育長職務代理者)

- ・来年の公民館大会の開催地については、大船渡での開催とのことであるが、以前は何年前に開催しているか。

(教育長)

- ・本来であれば今年開催予定だったが、先延ばしになった。

(生涯学習課長)

・先週ぐらいに開催する予定だった。前回の大船渡開催は 30 年くらい前だったと思う。
(教育長職務代理者)

・会場は、どこを予定しているのか。

(生涯学習課長)

・三陸公民館を予定している。

(教育長)

・新型コロナウイルス感染症対策について、各施設の対応状況は、市の対応段階が第 3 段階のままで 8 月 31 日まで延びた。

(生涯学習課長)

・8 月 1 日から第 4 段階になり、もう少し緩和されるどころだったが、見合わせる事となった。

(教育長)

・その他、質問、意見がないことを確認後、諸報告を終了する。

(教育長)

・開議を宣言する。

・日程第 1、会期の決定について、会期を 1 日とする。

・日程第 2、議案第 1 号についてであるが、資料が部外秘であることから秘密会にしたいと考えるがよろしいか。

(教育委員)

・異議なし。

(教育長)

・それでは、会議規則第 13 条第 1 項の規定により、議案第 1 号は秘密会とする。

一般傍聴人は退席を願う。

～議案第 1 号 令和 2 年大船渡市議会第 3 回臨時会に提案する議案（教育に関する事務について定める部分）を作成することについては、秘密会のため会議録省略～
(教育次長が説明し、教育長が採決を諮る。全員異議がなく、議案第 1 号は原案どおり可決される。)

(教育長)

・秘密会を解き、会議を続行する。

・日程第 3、議案第 2 号についてであるが、資料が部外秘であることから秘密会にしたいと考えるがよろしいか。

(教育委員)

・異議なし。

(教育長)

・それでは、会議規則第 13 条第 1 項の規定により、議案第 2 号は秘密会とする。

一般傍聴人は退席を願う。

～議案第 2 号 令和 3 年度使用小学校及び中学校教科用図書採択に関し議決を求めることについては、秘密会のため会議録省略～
(学校教育課長が説明し、教育長が採決を諮る。全員異議がなく、議案第 2 号は原案どおり可決される。)

(教育長)

- ・秘密会を解き、会議を続行する。
- ・日程第4、協議第1号について、説明を求める。

(学校教育課長)

- ・日程第4、協議第1号 第一中学校校舎等改築事業の基本設計(案)について、説明する。

(教育長)

- ・協議第1号について、質問、意見を求める。

(教育委員)

- ・1階の相談室が4部屋ある。ここは心の相談員が詰めるのか、それとも先生達か。

(学校教育課長)

- ・様々な場面が想定される。心の相談員が活用しても良い。突発的なものも対応できるように相談室の数をなるべく増やしてほしいというのが学校の要望であり、個別対応にも細やかに対応できるよう検討されている。

(教育委員)

- ・東日本大震災の時、崎浜小学校では3、4年生の避難が遅れた。崎浜小学校には廊下がなく、各教室へは階段を使っていくため、この教室が死角となり連絡がいかなかったことが要因である。この設計は死角がなく、いい設計だと思う。

(教育長職務代理者)

- ・立根川に沿った市道関谷轆轤石線への要望はあったのか。

(教育長)

- ・地区への説明は実施設計後になる。

(教育長職務代理者)

- ・保護者の駐車スペースが校舎裏にある。保護者も一中前橋から正門前を通り川に沿った道路を通るのであれば、かなりの交通量になるだろう。

(教育長)

- ・バスが通ることも想定されており、検討している。

(教育長職務代理者)

- ・地域の方々が地域玄関を通過し、1階のアリーナで活動する場合や、階段を利用し2階、例えば武道場の方まで行けるのか。使用目的に沿って利用するなら良いが、その辺が心配される。また、地域の方は更衣室を利用できるのか。

(学校教育課長)

- ・それは、今後の使用の在り方だと思う。鍵をかけることは簡単に出来る。

(教育長)

- ・他に、質問、意見がないことを確認後、協議第1号について諮る。
- ・全員異議がなく、協議第1号を原案どおり承認する。

(教育長)

- ・その他、質問・意見、追加議案がないことを確認後、議案審議を終了する。
- ・令和2年大船渡市教育委員会第7回定例会の閉会を宣言する。

会議録作成者 教育長 小松伸也

会議録署名者 教育長

教育長職務代理者

委員

委員

委員